

## 全国人権・同和教育研究大会

11月17日～18日の二日間、第70回全国人権・同和教育研究大会が、滋賀県大津市周辺で開催されました。大会に参加された方の感想を紹介します。

私が『人権・同和』に関する何らかの勉強をしたという記憶は、中学生まで遡らないとありませんでした。そのときから漠然と『差別的な表現や行動を控えなければならぬ』と思いつつも、特に何か行動を起こすようなことはなかったと思います。

そのような中で、この特別報告は、『差別をなくすためにわたしたちができること』これからの部落差別問題を考える」というテーマに基づき、大会開催地である滋賀県のNPO法人や小学校、部落解放活動に従事する方がパネラーとなり討論をするというものでした。

パネラーのある方（以下Aさんとします。）が「わたしが感じる差別

の現実」という討議で、学生時代に直接の友人ではない知人たちとの談笑の最中、冗談で知人の方が差別用語を使ったと話されました。Aさんは15歳の頃から部落解放運動の指導者としての活動をしておられますが、いざ差別用語を使われる現場に突発的に直面した際に何も言えなかったことが悔しいと話されました。

私も学生時代に冗談で差別用語を使用した場面を目撃したことがあります。当時の私は「冗談だから良いだろう」「皆、使つてはいけないとは思っているけど、仲間内で傷つく人はいないから大丈夫」というような軽い考えだったと思います。差別用語を使用することについて自分が特段に意識をせず、また強く考えなくてもいなかっただけに問題だと気づけなかつたのだと思います。今後は自分が知らぬうちに誰かの人権を侵害するようなことにならぬよう、気づきの努力を怠らないようにします。

先日、小地域懇談会に参加して気づきの力を高める勉強をしたところ



でしたが、今回の大会に参加してよ勉強になったと感じています。他にも様々な人権・同和教育の討議・報告がありました。聞いて終わりにするのではなく、私は今回この大会に参加して見聞きしたことの一つひとつについて考え、また日々の行動・言動・場面についてもその結果がどうなるのか想像して行動していきます。

## 大山町人権・同和教育推進大会

トークライブ  
「ひとりひとり」の学び

◆日時 1月26日（土）

9時30分～12時30分（開場9時）

◆会場 保健福祉センターなわ

◆テーマ 障害があってもみんなと学びたい子、「普通の学校」になじめず、もっと自由に学びたい子もいます。「ひとりひとり」が大事にされる、学びを考えます。

◆講師 前川喜平さん、迫川 緑さん、橋本智子さんほか

◆その他

①託児、手話通訳を設けます。その他配慮を希望される場合は、人権推進室に申し込んでください。

②この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です。

\*参加人数把握のため、参加申込みをお願いします。

◆主催 大山町、大山町教育委員会、大山町人権・同和推進協議会

◆問い合わせ先

福祉介護課人権推進室

☎0859・54・2286  
 FAX0859・54・2413